

博士論文発表会日程一覧

※発表会日程順

論文発表会日時・場所		専攻	発表者氏名	論文テーマ
12月13日	14:40-16:10	中央棟・第5講義室	文化財保存学(保存科学)	崔 禎恩 朝鮮半島で制作された高麗青銅文化財の金属組織学的研究
12月14日	10:00-11:00	大学美術館2Fテラス	先端芸術表現	西尾 美也 状況を内破するコミュニケーション行為としての装いに関する研究
12月14日	11:00-12:00	大学美術館3F	日本画	川名 倫明 異界と境界-絵画表現における非日常性-
12月14日	13:00-14:00	大学美術館2Fテラス	先端芸術表現	邱 奕堅 「台湾・中国・日本に於ける1980年代以降の現代写真芸術」について
12月14日	13:00-14:00	大学美術館3F	日本画	水野 淳子 『はかなさの戯画』
12月14日	14:00-15:00	大学美術館3F	日本画	大竹 寛子 連続的瞬間の中にある恒常性
12月14日	14:00-15:00	大学美術館B2F 2展示室	文化財保存学(保存修復・工芸)	李 恩美 朝鮮唐津伝統技法研究-出光美術館所蔵「朝鮮唐津水指」の模作を通じて-
12月14日	15:00-16:00	絵画棟1F アートスペース	先端芸術表現	山田 良 風景を成す場所としての環境芸術-その空間構造-
12月14日	15:00-16:00	大学美術館B2F 1展示室	工芸(ガラス造形)	藤田 紗代 場景のかたち-ガラスによる光の表現-
12月15日	10:00-11:00	絵画棟1F アートスペース	先端芸術表現	琴 仙姫 ケモノ道-分断の狭間、動植物たちの栄える場所-
12月15日	10:00-11:00	大学美術館3F	先端芸術表現	多和田有希 マジックリアリズムの今日的意味について
12月15日	10:00-11:00	中央棟・第3講義室	芸術学(美術教育)	早川 陽 日本画の景色観としての盆景性-その振じれと可能性-
12月15日	12:00-13:00	大学美術館3F	先端芸術表現	春日 聡 《陶酔のテクノロジー》バリ島における音と陶酔の共鳴-祭祀儀礼を中心とした民族誌の視座から-
12月15日	13:00-14:00	大学美術館B2F 1展示室	工芸(木工芸)	滝澤 水瑠 「境界の陰翳」-囲いの破れ目-
12月15日	13:00-14:00	中央棟・第3講義室	芸術学(美術教育)	ドボ ボネト ルカス イエズスの痕跡-日本で行われたイエズス会のアートセミナリヨ制度に関する一考察-
12月15日	14:00-15:00	大学美術館3F	先端芸術表現	井上 幸穂 純粋映像論 ジル・ドゥルーズ『シネマ』から写真を考える
12月15日	16:00-17:00	絵画棟1F アートスペース	先端芸術表現	栗山 斉 「∴0=1」-「無」と「存在」の同等性-
12月16日	10:00-11:00	大学美術館2Fテラス	彫刻	大平 龍一 凸凹ノス、メ-異形の世界を求めて-
12月16日	10:00-11:00	大学美術館3F	油画(版画)	スタータイラ テーピット 過去からの暗示
12月16日	11:00-12:00	大学美術館2Fテラス	彫刻	渡辺 里紗 私にとっての静物彫刻
12月16日	11:00-12:00	中央棟・第3講義室	文化財保存学(保存修復・建造物)	趙 賢貞 木造文化財建造物における部材の保存技術と修復技法に関する研究
12月16日	14:00-15:00	大学美術館3F	油画	熊谷 直人 植物のように生成する絵画
12月16日	14:00-15:00	大学美術館B2F 2展示室	文化財保存学(保存修復・日本画)	佐々木 益 肌裏紙が絵画に与える影響に関する研究-古典絵画(絹本)修理時の肌裏紙の選定を中心として-
12月16日	15:00-16:00	大学美術館3F	油画	巖佐 鈴奈 線の考察
12月16日	15:00-16:00	大学美術館B2F 2展示室	文化財保存学(保存修復・日本画)	文 眞英 屏風における総金箔地の表現効果について-重要文化財「檜隈凶屏風」尾形光琳筆 東京藝術大学 大学美術館蔵の模写を通じて-
12月17日	11:00-12:00	大学美術館2Fテラス	油画	杉山 礼香 意識、透明な痕跡
12月17日	13:00-14:00	大学美術館3F	油画	Firoz Mahmud (フィロズ マハムド) 「変遷の中で:移住者の美術における逆説的地獄の光景」-異国、異文化間の流動的時代における制作のDesi直感の検証-
12月17日	13:00-14:00	大学美術館B2F 2展示室	文化財保存学(保存修復・工芸)	李 政垠 正倉院夾纈技法の復元的研究-纈綱染表現技法の解明-
12月17日	15:00-16:00	大学美術館3F	油画	石田 裕豊 デバイズマンと共鳴-「私」以外の「だれか」が勝手に「私」の目を通して別の情景を見ている-
12月20日	13:00-14:30	総合工房棟・A棟地下1階文化財会議室	文化財保存学(保存科学)	杉岡奈穂子 江戸後期の唐棧布に用いられたクロム酸鉛系顔料の材料科学的研究
12月20日	15:00-16:30	総合工房棟・A棟地下1階文化財会議室	文化財保存学(保存科学)	田中眞奈子 火縄銃に用いられた鋼の微細構造と腐食挙動に関する金属組織学的研究
12月21日	10:00-11:00	大学美術館3F	油画	山本久美子 レイヤー表現:リズム・ゆらぎ・ズレ
12月21日	11:00-12:00	大学美術館3F	デザイン	山内 貴博 比較風景論
12月21日	11:00-12:00	大学美術館B2F 2展示室	文化財保存学(保存修復・彫刻)	鈴木 篤 木芯を含むヒノキ材による一木造りの構造・技法について-六波羅蜜寺蔵木造広目天立像模刻制作を通して-
12月21日	12:00-13:00	大学美術館3F	油画(油画技法・材料)	平田 立人 充満する社会/周辺の空地
12月21日	13:00-14:00	大学美術館B2F 1展示室	工芸(鍛金)	小田 薫 記憶の在り処-不安と不在に向き合う造形-
12月21日	13:00-14:00	大学美術館B2F 2展示室	文化財保存学(保存修復・彫刻)	吉水 快聞 快慶と快慶風の阿弥如来立像について-東大寺俊乘堂像の模刻制作と善光寺像の修復を通して-
12月21日	14:00-15:00	大学美術館3F	油画(油画技法・材料)	小池真奈美 落語の中で化ける自画像
12月21日	14:00-15:00	大学美術館B2F 2展示室	文化財保存学(保存修復・彫刻)	鄭 至娟 韓国の灰矽仏の技法的研究-大倉集古館蔵の脱活乾漆造菩薩坐像の模刻を中心に-
12月21日	14:40-16:10	中央棟・第6講義室	文化財保存学(保存科学)	貴田 啓子 浮世絵顔料プルシアンブルーが和紙の劣化に及ぼす影響
12月21日	15:00-16:00	大学美術館3F	デザイン	キム ソヨン 写すもの、あるいは映るものの不在-見ることへの考察を通じた眺めの概念から-
12月22日	13:00-14:00	大学美術館B2F 1展示室	工芸(彫金)	蔣 賢淑 時間に関するイメージの造形化(ステンレス線によるコンテンポラリー・ジュエリー)
12月22日	13:00-14:00	中央棟・第3講義室	芸術学(日本・東洋美術史)	佐々木あすか 鎌倉時代彫刻史における新形式・新様式の形成過程の研究-奈良仏師康慶・運慶を中心に-
12月22日	13:00-14:00	中央棟・第5講義室	文化財保存学(保存修復・油画)	中安 知佳 三次元蛍光スペクトル法を用いた油画修復に使用されるワニスの研究
12月22日	14:00-15:00	中央棟・第3講義室	芸術学(日本・東洋美術史)	谷口 英理 近代日本の「前衛芸術」とメディア、テクノロジー
12月22日	17:00-18:00	中央棟・第3講義室	芸術学(西洋美術史)	小林亜起子 タピスリー・デザイナーとしてのフランソワ・ブーシェ-ボーヴェ製作所のための制作活動について-